

投与プロトコル 1コース 21日間 ※コース数は下記参照※ 《開始時基準 PS:0~2 年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
※ ガザイバ:計8コース(7,8コースはday1にガザイバのみ投与) ※ CHOP:計6コース					
ルートKeep	生食	500mL		-	
プレメディ/内服	※)プレドニゾン100mg+抗ヒスタミン薬+解熱鎮痛剤		1コース目 day1	1時間前	※)1コース目 day1は、ガザイバ投与1時間前にCHOPのプレドニゾン100mgを分1での内服を必須とする
	抗ヒスタミン薬+解熱鎮痛剤		1コース目 Day8以降	30分前	
①	ガザイバ: 1000mg/body 生食 210mL	mg	1コース目 Day1,8,15 2コース目以降 Day1	ガザイバ投与速度参照	患者の状態に応じて、ガザイバとCHOPを別日に投与することも可能とする
プレメディ	5-HT3受容体拮抗薬+生食100mL		Day1	30分	
②	エンドキサン : 750mg/m ² 生食 500mL	mg	Day1	2時間	
③	オンコビン : 1.4mg/m ² max 2mg/body 生食 50mL	mg	Day1	15分	
④	ドキシソルピシン : 50mg/m ² 5%ブドウ糖液 100mL	mg	Day1	30分	
内服	※)プレドニゾン: 100mg/body	mg	Day1-5	-	

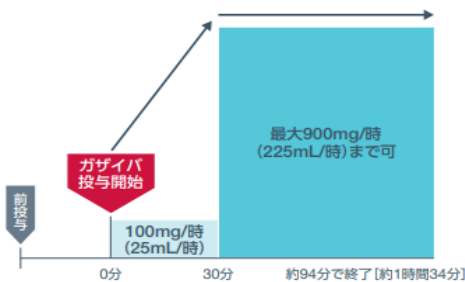
※ガザイバ初回投与時は、1時間前に副腎皮質ホルモン剤、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン薬の投与を必須とする
 ・同日にCHOPを投与する場合: CHOPのプレドニゾン100mgを分1で投与
 ・同日にCHOPを投与しない場合: 副腎皮質ホルモン剤(プレドニゾン100mg or デキサメタゾン20mg or ソル・メ・ロール80mg)を投与。
 なおヒドロコルチゾンはinfusion reactionの軽減に有効でないため前投薬に使用しない。(ガザイバ適正使用ガイドより)

◆ガザイバ投与速度

Infusion reactionが認められなかった場合には、患者の状態を観察しながら投与速度を下表のように変更することができる。

投与時期	投与速度
第1サイクル	初回投与 50mg/時で開始し、30分毎に50mg/時ずつ、最大400mg/時まで上げることができる。
	2回目以降 前回の投与でGrade 2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は、100mg/時で投与を開始し、30分毎に100mg/時ずつ、最大400mg/時まで上げることができる。
第2サイクル以降	第1サイクルの投与でGrade 3以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は、最初の30分は100mg/時で開始し、その後最大900mg/時まで上げることができる。なお、前回の投与でGrade 3のinfusion reactionが発現した場合は、初回投与時の速度で行うこと。

サイクル2以降 (投与時間短縮投与方法)



サイクル1の投与でGrade 3以上のinfusion reactionが発現しなかった場合は、最初の30分は100mg/時 (25mL/時) で開始し、その後最大900mg/時 (225mL/時) まで上げることができます。

()は希釈後の点滴静注量

前回の投与でGrade 3のinfusion reactionが発現した場合は、初回投与時の速度で行ってください。

GradeはNCI-CTCAE v4.0に準じる。